

5/20(月)朝会校長講話 『心のコップ』の話

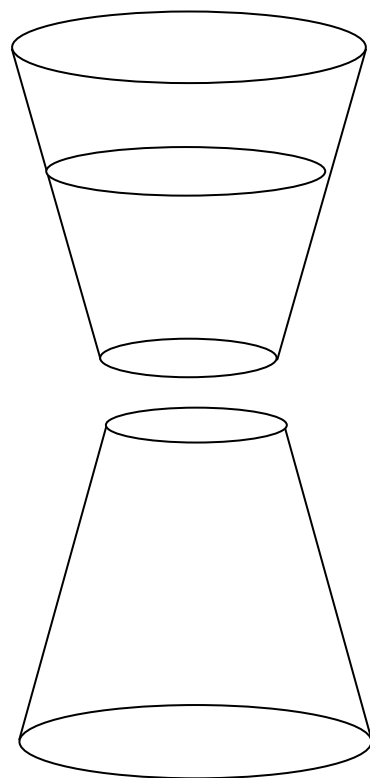
～心のありかたが君の成長を決める～

このように上を向いているコップには水を注げます。下を向けているとコップから水はこぼれていく。当たり前ですね。では、この『コップ』を皆さんの『心』、『水』は『大切なもの』に置き換えてみます。ここでは『大切なもの』とは、まわりの人からの言葉がけとします。例えば『挨拶、まわりの人からの助言やアドバイス、檄（げき）、注意やお叱りの言葉』です。心のコップが上を向いていれば、大切なものが注がれます。心のコップが下を向いていれば、大切なものがこぼれていく。

特にこぼれやすいのは、私たちにとって耳の痛い言葉。五月は宿泊、校外学習が続きました。一年生のフレンドシップスクール、C組の高尾山登り。様々な成功もあり、失敗もありました。例えばこんな場面。仲間と励まし、声をかけあいながら協力して成功した行動、露天風呂に飛び込んだ人、ジャグをひっくり返した人、高尾山口駅の集合時刻に間に合わなかった人。その度に、学年の先生から様々な指導を受ける場面がありました。覚えていますか？そんな時、心のコップが上を向いているか、下を向いているかで、その後の行動が変わりますね。普段の挨拶もそうです。

「おはようございます」と声をかけられた方は、心のコップが上を向いていれば、「おはようございます」と元気に返せますね。家庭ではどうでしょうか？皆さんの保護者の方の様々な言葉を、心のコップに上手に注いでいますか？

大宮中の皆さんは、一人一人が素晴らしい個性や能力をもち、かけがえのない価値をもっています。でも、そうした力は様々な力を借りて、磨かなければ最大限発揮されません。そのためには『心のあり方』が何より大切です。だから、自分の心のコップを上に向ける意識をもってほしいのです。中学生ともなれば楽しみも苦労も増えます。「反抗期」と呼ばれるこの時期は、悩みや葛藤も多いでしょう。しかし、そのような時期だからこそ、大宮中の皆さんは大切なものを逃さないでほしい。他人に対して、また自分自身に対しても、心のありかたを考えながら、心のコップを上に向けて生きてほしいと願っています。😊



授業ぶらっと訪問⑨

5月22日(水)① 2B理科 庭野主任教諭

一校時、生徒のやや眠そうな声「お願いします」から始まります。あれ？ 一方、庭野先生は元気一杯です。チャイムで駆け込む生徒に、「廊下を歩く理由」「早めに教室を出ること」を確認してから授業に入ります。ここからエキサイティングな授業が始まります。本時の内容は『物質と原子の記号』です。今年度の庭野先生の授業はモデルチェンジを図っています。昨年度、私はいくつかの教科担当者と授業ノートづくりについて意見交換しました。それまで庭野先生は、自作のプリント学習中心で授業を進めてきました。自作プリント授業は、効率的に授業を進めることができますが、教員からの一方向の知識伝達になりがちで広がりには欠けることを、庭野先生は気にしていました。そこで、生徒の頭が自律的に回転する授業を目指したノートづくりの工夫を行うことにしたそうです。生徒に要求するテーマは、『教わるから学ぶ』。



下の写真のような A4 (見開き A3) 方眼ノートを、一時間の授業で見開き使用し、後々振り返った時に、鮮やかによみがえることを目指しています。授業は、まず原子と分子を簡単に説明した後、生徒に7分で教科書を参考に、庭野先生の自作プリント(ノートの左側に貼ります)で、自力解決でまとめていきます。結局、時間延長して11分かけました。その後、2分程度で、四人で分からないことを情報交換(教えあい)します。生徒は授業スタイルに、まだ慣れていないのでしょう。活発な意見交換は見られません。それが終わると、庭

授業タイトルを自分で付ける

左

プリントを貼る枠

不明点の枠

作問をする枠

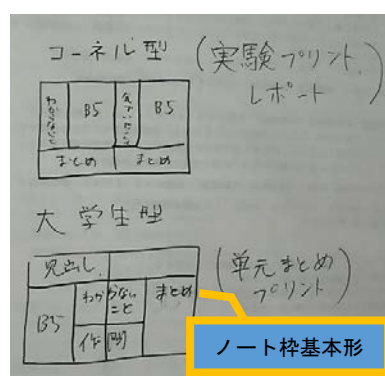
右

整理・深化する枠

初公開：これが見開き四分割A4ノートだ！

野先生が黒板を使って必要な解説を、生徒を指名しながら進めます。時折「ああ、なるほど」という生徒の声が聞こえてきます。ノートの右側は、「大学生型」と称して、自分でまとめ整理をする枠（フレーム）です。教科書で調べながら、整理を始めたところでチャイムが鳴り終了。

そして、ここからが生徒の学びの始まりです。家庭学習でまとめと整理（作問もあるようです）をおこない、分からない点を理解したり、発展深化させるのは生徒の出番です。庭野先生は、「ノートは先生に見せるためではなく、自分で見やすく理解を深めるノートにしてください」と伝えていました。授業を受けっぱなしにしない工夫です。生徒がパッシブ（受け身）な学習からアクティブ（主体的）な学びに、理科授業を進化させようと苦闘しています。私は参観していてドキドキ興奮しました。

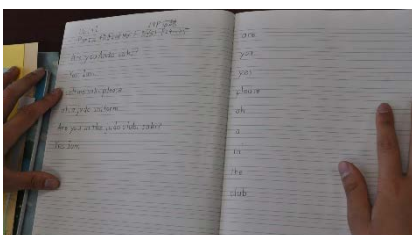
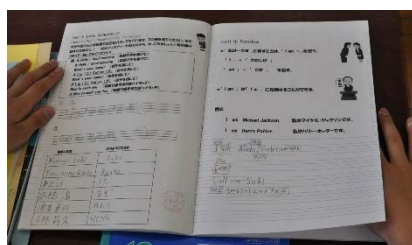


生徒は現在、図の庭野先生から例示された四分割枠を使っています。そのうち、それぞれの生徒が、自分で活用しやすいノートのフレーム（枠）づ

くりが進んでいくことを期待しています。

5/24(金)⑤ 英語 1年少人数 高橋周子講師

生徒は何と10人ちょっと。超少人数授業です。まず英語で挨拶から入ります。私にも挨拶してくれました。まず、ノートをチェックします。予習が家庭学習になっているようで、教科書を写して、新出単語を書き出しています。宿題忘れが2, 3人います。残念です。次に英語小文字を覚えてくる小テ



ストを実施。書けていない人は再テストになるそうです。その後、ノートの書き方を再度確認します。ここでも、ノート作りが大切な鍵になっています。宮本先生が作った学習プリントを貼って学習する部分。自分で家庭で作っていく部分。4ページ単位になっています。ここまで10分間随分のんびり進んでいるなあと思ったら。。。。

ここからいきなりすごいスピードでギアアップ。周子先生、ニコニコしながら英語でベラベラしゃ



べりだして、一年生が大きな声を出して後をついていきます。周子先生、笑顔が絶えず表情豊か。歯切れの良い発声で、生徒を英語の渦に巻き込んでいきます。身振り手振りも激しく、小柄な先生がBigに見えます。デジタル教科書で、シートに新出単語が映し出され『you』と写ります。すぐに発声して、『あなた（たち）は』日本語をノートに書いていきます。教科書の音読。周子先生『読むときは下を向かないように、教科書を手に持つ！』と指示します。全体で一通り読んで、周子先生の『Good Job!』の聲が入ります。今度はペアで交互に読みます。発表タイムでは、『Good Job!』の声を連発です。生徒は皆うれしそうです。（私も『Good Job!』と言われたくなりました。。。）50分の授業の間、周子先生、巧みに声色を変えて（七つの声色を持っている…）、生徒を一瞬も飽きさせません。あっという間に時間経過。授業後、1年生の一人に「英語は好き？」と聞くと、「前は嫌いだったけど、今は少し好きになった」。上級学年はどんな様子かな？ とっても楽しみです。

5

20~

6

7

教育実習生紹介

千葉大学教育学部小学校教員養成課程音楽科選修から来ました、山本佳奈子です。担当教科は音楽で、クラスは2年A組さんにお世話になっています。大学では音楽教育について学んでおり、教員を目指して日々努力しています。音楽教育の研究では、生徒の皆さんがより楽しく音楽の奥深い面白さに触れられる授業を実現するために、授業の仕方と音楽の専門知識両面を学んでいます。みなさんは音楽が好きですか？教育実習にあたり、自分の中学生の頃を思い出しました。思い出すのは楽しかったことばかりです。みなさんが将来、中学生楽しかった！と思えるよう、微力ですが全力で取り組んでいきますので、三週間よろしくお願いします。



画：2年美術部

5

8(水)~
10(金)

フレンドシップ スクール (第1学年)

第1学年で、大宮中生として学年・学級の絆を深めるねらいで、群馬県吾妻郡の『ホテルコニファーいわびつ』で、2泊3日の宿泊行事を実施しました。期間中は、三日間快晴に恵まれ、プロジェクトアドベンチャー、ネイチャークラフト製作&発表会、カレー・お切り込みうどん作りなどの充実した体験活動プログラムを実施しました。

当日の生徒の様子は、『緊急連絡メール』を使用して、保護者の皆様に朝・夕に”緊急でない連絡メール”としてお知らせしました。期間中に登録者が5名増えました。ありがとうございました。今後の宿泊行事でも発信いたします。未登録のご家庭は、ぜひご登録ください！



5

17(金)

高尾山登山 (C組)

当日は上天気。C組では、階段上りや陸上競技場での脚力強化の準備をしてきました。永福町駅集合で、グループで電車を乗り継ぎ、高尾山口から登り6号路、下り1号路を使って、一日山歩きを楽しみました。山頂は休日の新宿駅前のように混雑しており、秘密の場所でゆったりとお弁当をいただきました。皆よく頑張って、校長の私が一番疲れました。何とも情けない。鍛え直します。



『学びの教室』スタート

5/17から巡回指導員を迎えて毎週金曜日に始まりました。通常の教室一斉授業での学習に様々な困り感のある生徒に、特別な学び方の指導が行われる(授業の補習ではありません)教室です。他校の通級学級に行かなくてもよくなりました。二学期からの入室をご希望のご家庭は、担任を通じて6月中にご相談ください。